

新年度を迎えるにあたって

前年度までの状況から、「不登校のリスク」を把握しましょう！

新年度を迎え、児童生徒は、新しい人間関係づくりをスタートさせることとなりますが、人間関係の中では、自分の思いどおりにならなかったり、予想外のことが起こったりします。また、各教科の学習内容が深まる、自分が果たす役割が大きくなるなど、新たな自分の課題に直面することにもなります。

児童生徒が、無理なく新年度の学校生活に適応を図るためには、下記を参考に、前年度までの状況から、不登校に結びつきやすい事項＝「不登校のリスク」を把握して、引継を踏まえた切れ目のない継続した支援を行うことが必要です。

児童生徒の状況に合わせてきめ細やかな支援を行うとともに、全ての児童生徒が安心して学校で過ごすことができるように、居がいのある、温かい雰囲気の学級をつくりましょう。

「不登校のリスク」



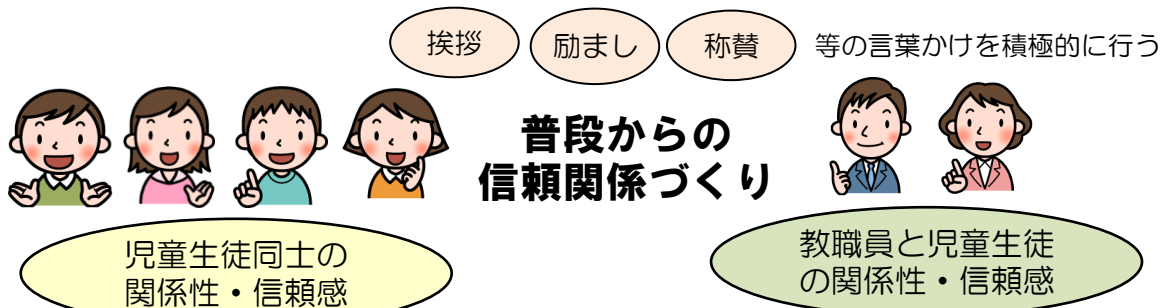
必要に応じて、前年度の状況について積極的に情報を集めましょう！

- ・ 欠席が10日以上あった。
- ・ 行き渋りがあった。
- ・ 一人で過ごすことが多かった。
- ・ 忘れ物や課題の未提出が多かった。
- ・ 特定の学校行事に参加できなかった。
- ・ 友人関係のトラブルがあった。
- ・ 放課後の時間に、トラブルがあった。
- ・ 生活習慣の乱れがあった。
- ・ 遅刻や早退が多かった。
- ・ 体調不良の訴えや、保健室の利用が多かった。
- ・ 大人と過ごすことが多かった。
- ・ 学習や運動などに、極端な苦手さがあった。
- ・ 教室以外の場で過ごすことが多かった。



居がいのある、温かい雰囲気のある学級をつくる

どの児童生徒も温かい雰囲気の中で受け入れる



児童生徒が主体的に活動する場面や、活躍できる場面を設定する



児童生徒の「自信」につながる支援を行うことが大切です！